

施策の方向性と個別の取組内容

A

みんなが集まり、楽しむ場をつくろう

目指すまちの姿を実現するために、町民が日常的に行きたいと思える場所や、観光客が訪れたいと思える場所をつくり、賑わいスポットをひとつひとつ増やしていきます。

- a. みんなのまちなか拠点づくり
- b. 子どもの遊びや子育て世代のための場づくり
- c. 小中学生が遊ぶスペースや勉強できる場づくり
- d. 高校生の放課後の居場所づくり（電車等を待つ場所の環境整備）
- e. コミュニティスペースの創出、運営（カフェ等）
- f. 高齢者等の健康づくり活動の場づくり
- g. マルシェ等の定期的開催と定着化の検討
- h. 伊佐須美神社周辺での仮設店舗等による実証実験
- i. 飲食等の場の提供
- j. 高田地域の特産品の販売



B

まちなかで活躍する仲間をふやそう

Aを実行するためには、主体となるプレイヤー（出店者など）を発掘しチャレンジしやすい環境を整える必要があります。

- k. 副業希望者等の掘り起こし
- l. 空き家及び空き店舗等とプレイヤーのマッチング
- m. 子どものまちづくりへの参加機会の提供



C

歩いて魅力的なまちなかをつくろう

Aの活動場所として、空き家及び空き店舗等の活用を進めながら、賑わいスポットをつないで人を回遊させ、賑わいを地域全体に広げていきます。

- n. 空き家及び空き店舗等の調査への協力
- o. SNS等を活用したイベント情報等の発信
- p. 地域の生活文化や歴史を活かした体験プログラムの企画提供



D

続ける・繋がる・広がる仕組みをつくろう

A～Cの活動を継続し、拡充するため、エリプラと行政が連携して、賑わいづくりを推進する体制を整えます。

- q. エリアプラットフォームの運営
- r. 収益化の検討（ふるさと納税の商品企画、管理運営等）

ロードマップ

エリア等	初動期 既存イベント等の継続、実証実験 体制構築			本格実行期 実績を積み 半自立			展開期 事業や拠点が 増える 収益化		
	短期 令和7年度～	中期 ～令和11年度	長期 ～令和16年度	短期 令和7年度～	中期 ～令和11年度	長期 ～令和16年度	短期 令和7年度～	中期 ～令和11年度	長期 ～令和16年度
美里蔵周辺	まちなか拠点の検討・整備 マルシェ等イベントの定期的な開催 空き店舗活用情報の収集・仕組みづくり	まちなか拠点運営開始 チャレンジショップ等導入準備 チャレンジショップ等実施		まちなか拠点の検討・整備 マルシェ等拡充	まちなか拠点運営開始 チャレンジショップ等導入準備 チャレンジショップ等実施		まちなか拠点の検討・整備 マルシェ等拡充	まちなか拠点運営開始 チャレンジショップ等導入準備 チャレンジショップ等実施	
伊佐須美神社周辺	実証実験の実施(物販) マルシェ等拡充	実証実験の継続 (観光交流施設の導入検討)	観光交流施設の整備 ※伊佐須美神社本殿再建(令和12年度(2030年度))	実証実験の実施(物販) マルシェ等拡充	実証実験の継続 (観光交流施設の導入検討)	観光交流施設の整備 ※伊佐須美神社本殿再建(令和12年度(2030年度))	実証実験の実施(物販) マルシェ等拡充	実証実験の継続 (観光交流施設の導入検討)	観光交流施設の整備 ※伊佐須美神社本殿再建(令和12年度(2030年度))
旧会津美里町公民館跡地周辺他	仮設建物の検討・整備	仮設建物や広場を活用したイベント等の実施 利活用の検討		仮設建物の検討・整備	仮設建物や広場を活用したイベント等の実施 利活用の検討		仮設建物の検討・整備	仮設建物や広場を活用したイベント等の実施 利活用の検討	
推進体制づくり、人材育成	エリアプラットフォームによる運営 マルシェ等運営でノウハウを蓄積	運営メンバーの拡充・活動の増加	運営拠点の増加	エリアプラットフォームによる運営 マルシェ等運営でノウハウを蓄積	運営メンバーの拡充・活動の増加	運営拠点の増加	エリアプラットフォームによる運営 マルシェ等運営でノウハウを蓄積	運営メンバーの拡充・活動の増加	運営拠点の増加

エリプラは短期的には、まちなか拠点を運営しながら行政のサポートにより、その体制を整えます。具体的には、マルシェ等の実証実験や、空き家及び空き店舗の活用を実施しながら、令和12年度の伊佐須美神社本殿の再建を見据えて活動を推進していきます。エリプラは活動を通じて事業を拡充し、最終的に収益化を確立し自立した運営を目指します。



出会えるまち、高田

高田まちなか未来ビジョン
高田まちなか賑わい創出エリアプラットフォーム

● エリプラとは？

会津美里町高田地域では、令和5年に町の中心市街地の活性化を目的とした協議会を立ち上げました。この活動から生まれたのが地域の民間事業者・団体、町民、行政等で構成される「高田まちなか賑わい創出エリアプラットフォーム」、通称「エリプラ」です。

● 未来ビジョンとは

エリプラが将来像を掲げ、その実現に向けて取り組む内容をまとめたものが「高田まちなか未来ビジョン」です。未来ビジョンでは10年間を実施期間とし、地域の課題を解決していくことでまちなかに賑わいを創り出すことを目指しています。

● 目指す将来像とは

エリプラが掲げる「未来ビジョン」には高田地域が「目指すまちの姿」と「コンセプト」を設定しています。

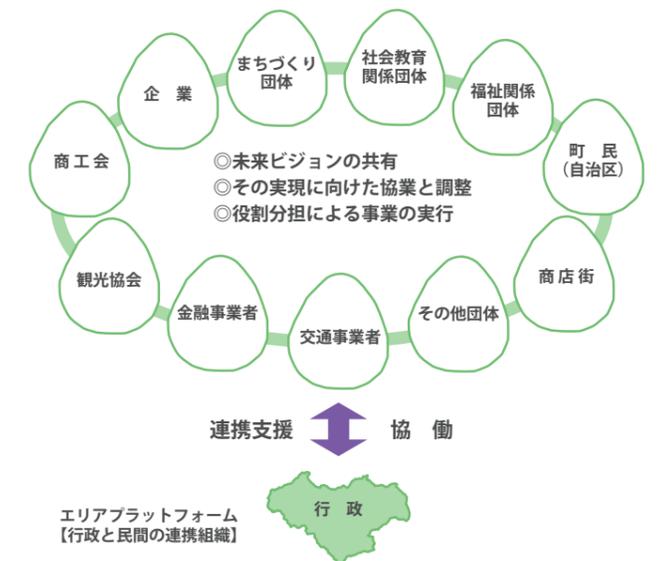
● 目指すまちの姿

- 全世代、居心地のよいサードプレイス
- 住んでいる人が生き生きと楽しんでいるまち
- 家族や友人と思い出をつくるまち
- 訪れる観光客も楽しめるまち

● コンセプト

「出会えるまち、高田」
あの人に会える、新しい出会いがある、会津文化発祥の地

● エリプラの構成員



● 計画の理念

